

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年2月13日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	茨木市	代表者名	福岡 洋一
担当者部署	企画財政部	連絡先電話番号	072-620-1607
担当者役職		担当者氏名	
住所	567-8505 大阪府茨木市駅前三丁目8番13号		
連絡先E-mail			

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉田 稔
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神淡路大震災を境とした西宮市のICT利活用の進展と被災者支援システムの開発経緯、システムの機能等を丁寧に説明していただき、被災者台帳の重要性とシステムを活用した被災者支援の在り方などについて、職員の理解と意識向上に大いに資する講演内容であったため。</li> <li>・被災者支援システムの整備を進めるにあたって本市が抱える課題、問題点について、的確にアドバイスをいただき、その解消に大いに役立ったため。</li> </ul>
アドバイザーへの要望事項	特になし。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月27日	9時30分	17時30分	60	420
3-2. 派遣場所	会場名	茨木市役所		最寄駅	JR茨木駅
	所在地	茨木市駅前三丁目8番13号			
	最寄駅からの交通手段	徒歩約10分			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	23人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	市職員だけでは専門的な知識が不足し、GISとの連携など、システムに備わるすべての機能の整備が完了していない。罹災証明書の発行にあたって、税情報で管理している地番情報と住民基本台帳の住所情報をシステム上では関連づけることができないなど、本市の実情に合わない点もあり、改修が必要であるが、職員の技能だけでは改修が困難な状況となっている。また、全庁的には被災者台帳の重要性に関する認識が共有できておらず、システムへの理解も不足している。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員に被災者台帳の重要性に関する認識を共有させるとともに、被災者支援システムに備わる避難所関連システム、緊急物資管理システム、被災予測等・復旧復興関連システム等、様々な関連システムに関する整備を完了させ、災害時の全庁的なシステムの活用を想定して早期にシステムの展開を完了させること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	【午前】庁内ワーキンググループメンバー、被災者台帳整備関係課職員、情報システム課対象 「ICT×防災(命を守るシステムとは何か)」講演 【午後】危機管理課、情報システム課職員対象 ①被災者支援システムのセットアップに関する助言、質疑応答 ②茨木市におけるGIS等の情報化インフラを確認した後、住所辞書作成の助言と具体的作業のアドバイス	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	【午前】 実際の経験に基づいた職員の災害対応、被災者台帳整備の重要性についてお話いただき、当時の映像資料等も交えて西宮市の被災の状況、災害後の復興過程における被災者支援システムの活用について丁寧にご説明いただいたことによる、被災者台帳及び被災者支援システムに関する職員の理解と意識の向上 【午後】 ①住所辞書に関する疑問点と統合宛名DBの基本的考え方	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	システムの検証について、アドバイザーからの指摘によって市側での環境が十分に整っていないことが判明した。システム整備に向けた必要な環境、資料はアドバイスを受けたが、システム構築を完了することはできなかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 庁内ワーキンググループと関係課のみを対象にした講演であったため、アンケート母数が少数であることから実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	被災者支援システム及び関連システムの本稼働	

**6. 地域情報化アドバイザー支援の様子**  
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年2月13日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	茨木市	代表者名	福岡 洋一		
担当者部署	企画財政部	連絡先電話番号	072-620-1607		
担当者役職	職員	担当者氏名	佐藤 瑛	連絡先E-mail	
住所	567-8505 大阪府茨木市駅前三丁目8番13号				

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉田 稔
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	<ul style="list-style-type: none"><li>・前日に判明した課題を解消するためのアドバイスを的確にいただけたため。</li><li>・GIS活用の重要性を分かりやすくご説明いただけたため。</li></ul>
アドバイザー への要望事項	特になし。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月28日	9時00分	12時00分		180
3-2. 派遣場所	会場名	茨木市役所		最寄駅	JR茨木駅
	所在地	茨木市駅前三丁目8番13号			
	最寄駅からの交通手段	徒歩約10分			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員	人数 3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	市職員だけでは専門的な知識が不足し、GISとの連携など、システムに備わるすべての機能の整備が完了していない。罹災証明書の発行にあたって、税情報で管理している地番情報と住民基本台帳の住所情報をシステム上では関連づけることができないなど、本市の実情に合わない点もあり、改修が必要であるが、職員の技能だけでは改修が困難な状況となっている。また、全庁的には被災者台帳の重要性に関する認識が共有できておらず、システムへの理解も不足している。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	職員に被災者台帳の重要性に関する認識を共有させるとともに、被災者支援システムに備わる避難所関連システム、緊急物資管理システム、被災予測等・復旧復興関連システム等、様々な関連システムに関する整備を完了させ、災害時の全庁的なシステムの活用を想定して早期にシステムの展開を完了させること。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	危機管理課、情報システム課職員を対象に、 ①住所辞書作成手順と住民地図の有用性とそれらの運用管理についての助言 ②自治体情報化推進におけるGISの重要性に関する講義(危機管理とGIS) ③福祉CS(災害弱者「避難行動要支援者」)への取組に対する助言	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	被災者支援システムの整備、住民地図の整備、GIS活用の重要性に対する意識	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	システムの動作検証については、市側の環境整備の十分でなかったため、支援期間内でシステム構築を完了することはできなかった。アドバイザーに各種システム、GISのデモをお見せいただくに留まった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 関係職員のみ少数であったため、アンケートは実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	被災者支援システム及び関連システムの本稼働	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

